

高校中の建替え工事契約を承認

温水プールは地域開放

第四回定例区議会に、高陵中学校の建替えについて、全会一致で議決されました。敷地が狭いため、地下を利用したりする大変な工事ですが、二〇一〇年には新校舎で三学期を迎える予定です。新校舎には、温水プールができ、夜間や休日には、地域の方々に一般開放される計画です。



校舎完成模型写真

「石油高騰に緊急対策を」 党区議員団提案の意見書

風見区議が提案してきたウォータークーラー、温水シャワーも設置予定です。現在は、仮校舎で勉強しています。党議員団は、プッシュアップ校舎では、隣の教室のチャイムの音、雨の音などで先生の声が聞き取れないなど生徒の声を聞き取り、改善を求めました。

高層住宅に階段避難車の貸与を

災害時、高層住宅のエレベーターが停止した時、病人やけが人、高齢の方を階段で降ろすのは大変です。「階段避難車」は、狭い階段でも利用でき、容易に避難させることが出来ます。本会議で、「高層マンションの自治会や防災住民組織に貸与すること。管理組合などで購入する際、助成すること」などを提案しました。区長は、避難対策として「階段避難車の配備は一つの方法として考えられる」、高層住宅を対象とした階段避難車の配備について、「検討を進めています」と答弁しました。

ハチ公バスが循環運行 (渋谷～原宿～千駄ヶ谷～代々木) 表参道から青山三丁目を経由



渋谷区のホームページより

渋谷区が運行するハチ公バスが、一部青山通りを運行することになります。渋谷区の担当者から、沿線の関係する町会長、自治会長らに説明されたものです。このバスは、渋谷駅から原宿駅、

運行開始は二月下旬から三月の予定。十五分間隔で午前八時から午後八時まで運行、料金は百円、シルバーバスは利用できません。青山にコミュニティバスを走らせる運動がきっかけとなり、区内一路線の「ちいばす」が運行されました。一日も早く、青山・西麻布地域にバスを走らせるため、引き続きがんばります。

党区議員団が提案した「石油価格高騰に係る緊急対策を求める意見書」が十二月七日の本会議で全会一致で可決され、内閣総理大臣などに送られました。石油の高騰で、トラック運送業者等燃料油を使う事業者などから「これでは経営がたゆまない」と悲鳴が上がると、生活と営業

に重大な影響が出ています。意見書は、政府に対し、「厳しさの増す区民の暮らしと営業を守り、消費者、地方への影響を緩和するため、ガソリンなど石油製品や食料品・日用品などの便乗値上げの監視の強化や、生活必需品である灯油、ガソリンの必要量の確保と、価格の引き下げなどの緊急対策を講じること」を強く求めたものです。

広尾病院は都立のまま 運動はじまる

東京都は、都立広尾病院をはじめとする都立病院を地方独立行政法人化するなど、都民の生命の守り手としての使命を投げ捨てようとしています。都立病院は、小児、周産期、救急、精神などの「不採算」となりがちな医療分野を重点としています。独立法人化されると、不採算部門が切り捨てられ、最悪の場合は、経営不振を理由に病院経営から撤退してしまう恐れもあります。いまの都立広尾病院は、総合救急診療の「東京ER」を運営し、休日、夜間も含む二四時間三六五日、常時対応できる救急体制で都民の命と健康を守っています。二区内の災害拠点病院としての役割と循環器や精神疾患と合わせ、産科、小児科、呼吸器科、伊豆諸島、小笠原諸島の患者の受け入れも行っており、島民にとってかけがえのない病院となっています。広尾病院の入院患者の十六％が港区民(第一位)、六％が港区民(第二位)となっています。区民にとってもなくてはならない病院です。いま、港区、渋谷区の人たちを中心に「広尾病院は都立のままです」と、病院を守ろうという運動がはじまっています。石原知事への要請、区議会への請願署名などを取り組む予定です。ご協力よろしくお願いたします。

表参道、青山三丁目、千駄ヶ谷駅、参宮橋駅、代々木駅を循環する計画です。千駄ヶ谷方面は、表参道交差点付近、東急ストア前、渋谷方面は、ピーコック前、紀の国屋前(仮店舗)付近にバス停を設置する計画で交通管理者と調整中とのこと。



都立広尾病院を守ろうと始まった署名

